

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品コード)	: メンテーループ (記号: MTL・品番: A334)
会社名称	: 株式会社 和光ケミカル
住所	: 神奈川県小田原市南鴨宮 1-1-1
電話番号	: 0465-48-2211(代)
FAX 番号	: 0465-49-1951
緊急連絡電話番号	: 技術部(電話: 0465-48-8114)
推奨用途及び使用上の制限	: ★長期的に潤滑・防水・防錆・摩耗防止を必要とする潤滑部(産業機械・農業機械・マリ ン関係機械・バイク・自転車等のノンシールチェーン・ワイヤー類等) ★各種金属部品の 長期防錆【業務用】
作成日	: 2014年5月1日 (2023年4月1日 改訂第5版)
整理番号	: A334-J05

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	エアゾール	区分1
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3(麻酔作用)
	水生環境有害性 短期(急性)	区分3
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分2
	※記載のないものは区分に該当しない、または分類できない	

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

- H222: 極めて可燃性の高いエアゾール
- H229: 高压容器; 熱すると破裂のおそれ
- H319: 強い眼刺激
- H336: 眠気またはめまいのおそれ
- H402: 水生生物に有害
- H411: 長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

- P210: 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- P211: 裸火または他の着火源に噴霧しないこと。
- P251: 加圧容器: 使用後を含め、穴をあけたり燃やしたりしないこと。
- P261: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- P264: 取扱い後は手をよく洗うこと。
- P271: 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- P273: 環境への放出を避けること。
- P280: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

- P304+P340: 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P312: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- P305+P351+P338: 眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを使用していて容易に外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P337+P313: 眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
- P391: 漏出物を回収すること。

【保管】

- P403+P235: 換気の良い場所で保管すること。涼しい所に置くこと。
- P405: 施錠して保管すること。
- P410+P412: 日光から遮断し、50℃以上の温度にばく露しないこと。

【廃棄】

- P501: 内容物/容器を国際条約や国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

## 3. 組成および成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

- ・炭化水素系溶剤 15~25 wt%
- ・潤滑油基油 企業秘密の為公表できない
- ・潤滑油添加剤 企業秘密の為公表できない
- ・フッ素化合物 企業秘密の為公表できない
- ・噴射剤 (LPG) 30~40 wt%

成分及び含有率 :

化合物名	CAS-No.	官報公示整理番号(化審法)	労働安全衛生法(政令 No.等)	PRTR 法(管理番号)	含有率(wt.%)
鉱油※1	混合物の為記載できない	登録済	168	非該当	1~5
イソパラフィン	64742-48-9	(9)-1690	330	非該当	10~25
ノナン(異性体を含む)	111-84-2 他	(2)-9	432	非該当	1~1.5
ノルマルノナン				2種(791)※2	<1
LPG(噴射剤)	——	——	——	——	30~40
プロパン	74-98-6	——	非該当	非該当	——
n-ブタン	106-97-6	——	通知対象物	非該当	——
イソブタン	75-28-5	——	通知対象物	非該当	——

※1 鉱油 : IP346 法による DMSO 抽出物質が 3wt%未滿。

※2 : 第 2 種指定化学物質だが、含有濃度は PRTR 対象濃度に満たないため製品としては非該当

4. 応急措置
- 眼に入った場合 : 直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。容易に外せるならコンタクトレンズなどは外す。痛みが残るときは直ちに医師の診察を受けること。
  - 皮膚に付着した場合 : 付着物を布にて素早く拭き取る。大量の水及び石けんまたは皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。外観に変化が見られたり痛みがある場合は、医師の診察を受ける。
  - 吸入した場合 : 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませない。直ちに医師の手当てを受けること。
  - 飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合には安静にして直ちに医師の診察を受ける。無理に吐かせないこと。また嘔吐物は飲み込ませないこと。

5. 火災時の措置
- 消火方法 : 適切な保護衣(耐熱着衣など)を着用する。可燃性のものを周囲から素早く取り除くこと。指定の消火器を使用すること。火災の現場にエアゾール容器があると破裂する恐れがあるので、消火活動には距離を充分にとること。高温にさらされる製品容器に水をかけて冷却する。
  - 消火剤 : ABC または BC 型粉末消火剤

6. 漏出時の措置
- : 付近の着火源、高温体及び可燃物を速やかに取り除く。
  - : 着火した場合に備えて、粉末または泡消火器を準備する。
  - : 作業の際は適切な保護具(手袋、マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
  - : 乾燥砂、土その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には、盛り土で囲って流出を防止する。
  - : 流出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
  - : 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。
  - : 付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置をすること。

7. 取扱い及び保管上の注意
- 取扱い : 使用時には、使用者にかからないよう風の流れを背後から受けるようにする。換気の良い場所で取扱い、周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。火炎に向かって噴射してはならない。湿度が高くなる場所に置くと、容器が破裂する恐れがある。皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、吸入したり、眼に入らぬよう適切な保護具を着用する。密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置をつけ、適切な保護具

保管 : をつけて作業すること。  
 : 幼児の手の届かないところに置くこと。  
 直射日光を避け、火気、熱源から遠ざけて保管する。  
 40℃以上になる所には置かないこと。  
 錆の発生しやすいところ、湿気の多いところに置かない。水回りや湿気の高いところに置くと、缶が錆びて内容物が漏出、または噴出する恐れがある。

8. ばく露防止及び保護措置

化合物名	CAS-No.	管理濃度	ACGIH TLVs		日本産業衛生学会 TLV
			TWA	STEL	
石油ナフサ	64742-48-9	——	196 ppm※(1200 mg/m <sup>3</sup> )	——	——
ノナン	111-84-2	——	200 ppm	——	200 ppm(1050 mg/m <sup>3</sup> )
鉱油	混合物の為記載できない	——	5mg/m <sup>3</sup> (鉱油ミストとして)	——	3mg/m <sup>3</sup> (鉱油ミストとして)
プロパン	74-98-6	——	1000 ppm	——	——
n-ブタン	106-97-8	——	800 ppm	——	500 ppm
イソブタン	75-28-5	——	1000 ppm	——	500 ppm

※RCP-TWA

設備対策 : 取り扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備とすること。  
 保護具 眼 : 保護眼鏡を着用する。  
 皮膚 : 有機溶剤または耐油性の手袋を着用する。  
 呼吸器系 : 必要に応じて防毒マスク(有機ガス用)を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

	原液	噴射剤(LPG)		
		プロパン	n-ブタン	イソブタン
状態	粘性液体	ガス状(大気圧)、液状(容器内)		
外観	茶褐色混濁	無色透明	無色透明	無色透明
臭い	特異臭	無臭	無臭	無臭
融点	データなし	-190℃	-138℃	-159℃
流動点	-20℃以下	データなし	データなし	データなし
沸点	データなし	-42℃	-0.5℃	-11.7℃
引火点	45℃(PM)	-104℃	-60℃	<-56℃
発火点	データなし	450℃	365℃	460℃
爆発範囲	1.0~7.0%(基油推定)	2.1~9.5%	1.8~8.4%	1.8~8.4%
蒸気圧	データなし	1.275MPa(40℃)	0.278MPa(40℃)	0.427MPa(40℃)
蒸気密度	データなし	1.6(空気=1)	2.1(空気=1)	2.1(空気=1)
密度	0.8 g/cm <sup>3</sup>	0.5(水=1)	0.6(水=1)	0.6(水=1)
溶解性(水)	不溶	0.007g/100mL	0.006g/100mL	不溶
オクタノール/水分分配系数	データなし	logPow=2.36	logPow=2.89	logPow=2.80

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の条件では安定  
 反応性 : 強酸化剤との接触を避ける。  
 避けるべき条件 : ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないよう注意する。  
 避けるべき材料 : 現在のところ有用な情報なし  
 危険有害な分解生成物 : 燃焼の際には一酸化炭素を発生する可能性がある。  
 その他 : 現在のところ有用な情報なし

11. 有害性情報

製品としてのデータはない。成分ごとのデータおよびGHS区分により判定した。  
 記載無きものはGHS分類でカットオフ値以下のものか、知見なし、あるいはデータなし。  
 急性毒性 : 成分および組成より分類できないと判断した。  
 皮膚腐食性/刺激性 : 成分および組成より分類できないと判断した。  
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 2A及び2Bの成分を含み、加勢方式より製品としては2Aと判断した。  
 呼吸器感作性 : 成分および組成より分類できないと判断した。  
 皮膚感作性 : 成分および組成より分類できないと判断した。



毒物及び劇物取締法	: 非該当
高圧ガス保安法	: 適用除外(液化ガス、可燃性ガス)
消防法	: 危険物 第4類第2石油類(非水溶性) 危険等級Ⅲ
船舶安全法	: 危険物(高圧ガス、引火性液体類: 危険物船舶輸送および貯蔵規則)
航空法	: 危険物(施行規則第194条 危険物告示別表第1: 高圧ガス、引火性液体類)
海洋汚染防止法	: ばら積み貨物でないので製品としては非該当

---

16. その他の情報	RoHS 指令有害物質	: いずれも意図的な含有なし
	ELV 指令有害物質	: いずれも意図的な含有なし
	引用文献	: ①原料メーカーSDS ②製品評価技術基盤機構ホームページ ③法律に関するホームページ

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として提供されるものです。取扱者はこれを参考とし、自らの責任において個々の取扱いの実態に合わせた処置を講ずることが必要であり、これを理解した上で活用して下さい。従って、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。